

都市再生整備計画 事後評価シート

亀岡駅南周辺地区

令和7年2月

京都府亀岡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	京都府	市町村名	亀岡市		地区名	亀岡駅南周辺地区			面積	約110ha				
交付期間	令和元年度～令和5年度		事後評価実施時期	令和6年度		交付対象事業費	734.2百万円	国費率	49.2%					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名												
		基幹事業	(都)亀岡停車場三宅線修景整備、(都)並河亀岡停車場線修景整備、(都)西町亀岡停車場線・(都)重利西町線修景整備、歴史的資源ネットワーク整備、沿道からの視野に配慮したお堀の復元、辻広場整備①②											
		提案事業	まちなみ・まちづくり計画策定、亀岡駅南周辺地区事業効果分析											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	(都)重利西町線修景整備、沿道からの視野に配慮したお堀の復元、辻広場整備①②				令和元年度に開催した地区住民等による意見交換会での提案や要望を踏まえた事業を着実に推進することがまちづくりの目標達成に必要であると考え削除。			目標に掲げた「歴史や風土、景観に配慮した魅力あるまちづくり」に寄与するが削除され、代わりに「内丸町・京町簡易児童遊園整備」が新設された。				
		提案事業	—				—			—				
	新たに追加した事業	基幹事業	南郷公園及び公園遊歩道修景整備、内丸町児童遊園整備、京町児童遊園整備				令和元年度に開催した地区住民等による意見交換会での提案や要望を踏まえ追加。			目標に掲げた「住民や来訪者の愛着・満足度を高める空間の創出」に寄与する。				
		提案事業	—				—			—				
	交付期間の変更	当初	—		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—							
		変更	—											
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度		目標年度		モニタリング	評価値					
指標1		JR亀岡駅乗客者数	千人/年	3,299	H28	3,300	R5	—	3,050	△	あり	● JR亀岡駅乗客者数は令和元年度から令和2年度にかけてコロナ禍(令和2年4月～令和4年3月)の影響を受け激減しているが、計画が策定された令和2年度以降は徐々に回復している。評価時点では目標値に対し未達成ではあるものの、このまま増加を続ければ1年以内の目標達成が見込まれる。	—	
指標2		対象地区内人口	人	12,800	H29	12,800	R5	—	12,383	×	なし	● 本計画のメイン事業であり「歴史や風土、景観に配慮した魅力あるまちづくり」「住民や来訪者の愛着・満足度を高める空間の創出」に寄与する、「南郷公園及び公園遊歩道修景整備(高質空間形成施設)」や停車場線修景整備事業が令和6年時点で実施途中であり、2期計画ではこれらの効果が期待できる。	—	
											あり	● 平成29年から対象地区内人口は減少を続けており、目標達成の見込みはない。 高質空間形成施設の事業は一部が未完了であり、目標達成を目指して取り組んだものの効果を発揮しきれなかったと考えられる。また、亀岡市全体で少子高齢化の進行があるため、整備事業の効果だけでは人口減少を食い止められなかったと考えられる。		
指標3		城下町の周遊型観光客数	人/年	3,336	H29	5,952	R5	—	—	—	あり	—	—	
											なし	—		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況		指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
					基準年度		目標年度		モニタリング	評価値				
		その他の数値指標1	城下町歴史街並み案内所利用者数	人/年	3,012	H29	—	R5	—	2,174	△ 2期で設定の目標値を基に評価	—	● 城下町歴史街並み案内所利用者数は、平成29年度から令和3年度までは減少していたが、令和3年度以降は増加に転じている。 地域の観光資源である亀山城址に合わせて、停車場線修景整備事業や歴史的ネットワーク整備等を実施し、城下町にふさわしい街並みの整備を行ったことで目標に掲げた、「歴史や風土、景観に配慮した魅力あるまちづくり」「住民や来訪者の愛着・満足度を高める空間の創出」に寄与し、その結果、個性あるまちづくりの展開により交流人口の拡大と城下町歴史街並み案内所の利用者数増加につながったといえる。	—
4)定性的な効果発現状況														
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	実施なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた	—		—				
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	—						
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—						
	住民参加プロセス		意見交換会、建築用途・機能の満足度に関する住民(追分町)や大規模施設事業者向けアンケート、民間事業者向けヒアリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた	—		●	意見交換会で出た意見を踏まえて追加された公園整備等の事業を2期でも引き続き完成を目指して実施し、住民満足度の向上を目指す。			
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	—						
	持続的なまちづくり体制の構築		亀岡市駅前開発推進協議会				都市再生整備計画に記載し、実施できた	—		●	—			
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	—						
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		—								

様式2-2 地区の概要

亀岡駅南周辺地区「京都市亀岡市」都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標『歴史的景観を活かした出会いとふれあいの拠点となる新たなまちの顔づくり』 目標1 歴史や風土、景観に配慮した魅力あるまちづくり 目標2 駅周辺の快適性を高め、そこで暮らしたくなるようなまちづくり 目標3 住民や来訪者の愛着・満足度を高める空間の創出	JR亀岡駅乗客数	単位:千人/年	3,299	H28年度	3,300	R5年度	3,050	R5年度
	対象地区内人口	単位:人	12,800	H29年度	12,800	R5年度	12,383	R5年度
	城下町歴史街並み案内所利用者数	単位:人/年	—	H29年度	—	R5年度	2,174	R5年度
	城下町の周遊型観光客数	単位:人/年	3,338	H29年度	5,952	R5年度	—	—



まちの課題の変化	・地域住民による意見交換会での意見を踏まえたうえで、都市再生整備計画による駅前道路の修景整備や公園整備が実施された。 ・未完了ではあるものの、地域の観光資源である亀山城址に合わせて、停車場線修景整備事業や歴史的ネットワーク整備等を実施し、城下町にふさわしい街並みの整備を行った。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	・目標1に寄与する方策としては、地域の観光資源である亀山城址に合わせた城下町にふさわしい街並みの整備を継続して実施することで、観光資源の保全と来訪者の満足度向上を図る。 ・目標2に寄与する方策としては、JR亀岡駅周辺地区のポテンシャルを回復するため、都市機能としての駅前道路の機能向上を図る。また、観光客等の交流人口の増や駅北地区の土地区画整理事業による地区人口の増を見越し、駅南側の駅前地区における快適性向上を図る。さらに住民や来訪者の滞留・交流を促すことにより、周辺地区への賑いの波及効果創出を図る。 ・目標3に寄与する方策としては、地域住民による意見交換会でもニーズが高かった公園や駅前道路の修景整備を継続して実施することにより、地域住民及び来訪者の満足度向上を図る。